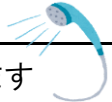


リツキシマブBS療法を受けられる患者さんへ

	入院日	リツキシマブBS療法当日	リツキシマブBS療法翌日
目標	治療の必要性、スケジュール、合併症や副作用を理解できる 	点滴のトラブルが起きないように注意を払うことができる 体温、血圧、脈拍などが安定している 次の症状が現れたとき、すぐに知らせることができる ■ リツキシマブによるアレルギー症状が現れたとき ■ 点滴刺入部の異常が見られたとき 	体温、血圧、脈拍などが安定している うがい、手洗いなどの感染予防を理解、実施できる 発熱時の対応を理解、実施できる 次の症状が現れたとき、すぐに知らせることができる ■ リツキシマブによる副作用が現れたとき
治療		点滴にかかる時間は【初回】4～6時間、【2回目以降】3～4時間程度 	
内服	持参された内服薬は、一旦看護師がお預かりします 内服薬は、入院後に当院から処方されたものを飲んでください 	リツキシマブ点滴開始30分前に、消炎鎮痛剤と抗アレルギー剤を内服します 内服時間はお知らせします	
点滴		身体の状態をみながら、リツキサンの速度をあげていきます すべて終了したら抜針します	
検査 観察	血液、胸部レントゲン、心電図などの検査をします 身長、体重を計測します 【10時・19時】 体調に変わりがないか、体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測	リツキサン点滴中は心電図モニターを装着します 【点滴中は30分毎】 体温・血圧・脈拍、酸素飽和度、副作用アレルギー症状（咳嗽や呼吸困難、皮疹や掻痒感など）、吐き気や嘔吐、寒気、点滴刺入部の異常がないか確認します 【10時・19時】 体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測	【10時・19時】 体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測 排便の状況を確認します
安静度	制限はありません	点滴中はできる限り安静に過ごしてください 点滴が終了し、体調に問題がなければ制限はありません	制限はありません 体調に合わせて適度な運動を心がけましょう
食事	制限はありません お粥、パンなど希望があれば看護師にご相談ください 既往歴によっては、希望に添えない場合があります 	制限はありません 	
清潔	シャワー浴ができます 		
排泄	便秘などがあれば相談してください	点滴の前にトイレを済ませて下さい	
説明	担当医師から治療について説明をします 薬剤師から薬について説明をします 抗がん薬曝露について説明をします 	副作用：吐き気、嘔吐 体がだるい、貧血、易出血、皮膚症状（湿疹・かゆみ）、不眠、免疫力の低下 対策： 吐き気止めの薬を使用する 無理せず休む 転ばないようにする 痒み止めの薬を内服する 清潔、保湿に努める 早めに下剤を調整する 吐き気や皮膚症状、不眠や発熱に対して対症療法を行います 免疫力が低下しているときはマスクを着用する、手洗い、うがいを行い	何でもご相談ください  治療中のみなさまへ 抗がん剤治療は長期に及びます。長い治療の中で体調が優れない日や、悩んだり、不安な日があると思います。そんなときは1人で抱え込まずに私達スタッフにいつでもお話ください。みなさまのお力になれるように、さまざまな職種のスタッフでサポートさせていただきます。